



九条はらまち

福島県「はらまち九条の会」会報 No.286

2016(平成28)年7月25日(月)発行



「おお、神聖なる単純さよ」 1415年 宗教改革の先駆者フスの嘆き

●今から600年前のポヘミアで、ローマ教会の腐敗を批判し火刑に処せられたフス。火刑の時、フスを悪魔とみなし薪をくべる敬虔な老婆や、喜々として薪を運ぶ農夫たちを見て、「おお、神聖なる単純さよ」と嘆いて息をひきとります。(ニーチェ『ツアラトウストラ』)

●現代社会でも、「真面目な人」「善良な人」「無知の人」が、「まあ、いいんじゃないの」とコロリと騙され、「政治の被害者が一番の支持者」になっていることも多いようです。

<7月10日参院選> 改憲勢力は

3分の2を超したけれども...

参院選は、報道のとおり自公与党が勝利。皆さんはどう受けとめられましたか。これからの九条の会活動、どう進めていきましょう。

- ①福島県選挙区では、民進党の現職が、法相で与党の現職を破って当選。新聞では「被災した福島県民の意地を辛うじて示した」と。また野党統一のため九条の会の果たした役割も大きかったとも。
- ②東大震災で被災の東北地方6県では、秋田以外自民が完敗。復旧、復興策への政府与党の取り組みへの不満、TPPへの農民の怒りの表れか。



▲7月17日「福島民報」『震災絵日記』より

	衆 院	参 院
自 民 党	亀岡偉民 (1区)	森 雅子
	根本 匠 (2区)	佐藤正久 (比例)
	吉野正芳 (5区)	
	菅家一郎 (比例東北)	
民 進 党	玄葉光一郎 (3区)	増子輝彦
	小熊慎司 (4区)	
	金子恵美 (比例東北)	
公 元 共	真山祐一 (比例東北)	若松謙維 (比例)
		山田和之 (比例)
		岩淵 友 (比例)

- ③<左表>が、福島県関係の国会議員。自民党と民進党の数が拮抗する結果になりました。
- ④もしも改憲の「国民投票」になった場合、英国のEU離脱の投票と重ねて不安を感じた人も多いようです。「無知」「無関心」を後悔している人も多い。
- ⑤今後マスコミが「改憲」の先導役になり、「改憲」を騒ぎ立てることで、アベ政権が勢いづき突き進むのではないかと不安です。特に「良識面した」アベノミNHKニュースが一番ひどいようです。

「憲法」や「平和」のことばをどうぞ！ <早乙女勝元編『平和のための名言集』参照>

- 常備軍は時とともに全廃されるべきである。(カント『永遠の平和のために』)
- 本当のことを知らないというのは、戦争に賛成していると同じことだったのよ。私は(息子)吉二を戦争で死なせた罪があるのよ。「無知の罪」という罪が、ね。(米田ひさ)
- 私は軍隊にいい子を出したんです。それなのに軍隊はあの子を人殺しにした。(ハーシュ)
- にほんのひのまる なでてあかい かえらぬおらがむすこの ちであかい(農民詩人おはん)
- 金持ち子どもが戦争するとき、死んでいくのは貧乏人なのだ。(サルトル)
- 私は「平和」という言葉を「日常」と言い換えています。(井上ひさし)
- 戦争は決して地震や津波のような天変地異ではない。(石川啄木)
- そもそも憲法というのは、夢でいいんです。みんなで夢に近づける、それでいいんです。夢を改正することはありません。(永六輔『伝言』岩波新書)
- 7月7日、83歳で死去。一貫して反権力・反戦平和を訴え、集団的自衛権の行使容認に反対する「戦争をさせない1000人委員会」よびかけ人でした。
- 敗戦で価値観が百八十度変わる体験は二度としたくない。(大橋巨泉)
- 7月12日、82歳で死去。民主主義から「マスコミ九条の会」よびかけ人に。



〈はらまち九条の会・これから活動〉

10月23日(日)午後1時~「はらまち九条の会」総会
終了後・映画「日本と原発・4年後」の上映

・会場:(JR原ノ町駅前) (2時間18分)

南相馬市中央図書館マルチメディアホール

■映画『日本と原発』は、全国の原発差し止め訴訟の先頭に立つ弁護士さんたちが、2014年に製作したドキュメンタリー映画です。原発とは、原発の建設は、原子ムラとは、なぜ爆発したのか、避難の理不尽さ、被曝の怖さ、被災者の嘆きなど。■そして今回上映の『日本と原発・4年後』はその改訂版で、テロや廃棄物、被曝の問題も加わっています。

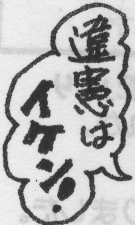
■事故に苦しむ私たち南相馬市民こそ、見るべき映画です。

◆監督製作・河合弘之(弁護士) 音楽・新垣 隆
構成監修・海渡雄一(弁護士) 製作・Kプロジェクト



日本と原発
4年後

○総会出席は会員(441名)だけですが、映画は市民の方も入場歓迎です!



〈主催:福島県九条の会〉 9月11日(日)午後1時~5時

政治の暴走を止めるために 小林節さん講演会

○九条落語・橋家扇三さん「長屋の憲法談義」 ○若者のDappe

・会場:福島県文化センター(とうほう・みんなの文化センター)

・入場協力券千円

小林節氏は、国会で「安保法案は違憲」とズバリ明言された慶応大学法学部教授。参院選では「怒りの党」を立ち上げ、安倍政権を批判し、憲法の立憲主義を守るため奮闘されました。

○〈協力券〉をご希望の方は、事務局員からお求めください。お待ちしております。

〈事務局より〉

◆参院選挙結果、会員の皆さんのご意見などを、お聞かせください。

◆5月、北海道の陸自演習場の訓練中、“誤って”実弾を撃ち合ったというのですが、海外での実戦を想定し“本気で”実弾で撃ち合ったではないか。南スーダンの自衛隊が心配です。

◆東日本大震災のトモダチ作戦で原子力潜水艦ロナルド・レーガンで従事した兵士たちが、福島第一原発沖で被曝し、400人が東京電力に集団訴訟を起こしています。骨膜肉腫で2014年35歳で死去した方もいますが、調査は打ち切りで見捨てられて、福島県民と同じです。

◆不気味な「改憲集団」の日本会議は、テレビなどではほとんど取り上げられません。なぜなのか?官邸からの圧力か。自ら学習して知ろうとしなければ、騙されたままです。毎日のテレビは、まさに「一億総白痴」にするための、アホな呆れた番組が多すぎるのでは。電波、電力のムダです。

◆参院選が終わるやいなや、沖縄への政府の仕打ちも本当にひどい。米軍ヘリパッドや辺野古移設工事で、政府の本性剥き出しです。

◆会報『九条はらまち』の次号発行は9月です。情報を事務局員へお寄せください。

〈「はらまち九条の会」事務局・市外局番はTEL0244〉

○会長:平田慶肇(ひらた けいいち) TEL24-1211-FAX24-4825

○事務局長:早坂吉彦 〒975-0016南相馬市原町区仲町2-161 TEL22-0326

○事務局次長:山崎健一 TEL090-7527-5453 Eメール:yamazakiken1@gmail.com

○会計:井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL22-7511-FAX26-0892

○石田賢二 TEL080-5556-4037 ○番場恵子 TEL22-0715 ○志賀勝明 TEL090-9530-5524

○HP:大浦祥見 TEL24-0704 ○栗村文夫・桂子 TEL090-8851-6904 ○田中徳雲 TEL090-2796-4066